

☆助動詞に強くなって会話力アップ-2

3.must 自分の判断で「…しなければならない。」の意

I must study English. 私は英語の勉強をしなければならない。

must は自分自身への強制ならいいのですが、他人に対してはきつく感じので、must よりも have to (has to) がよく使われる。

◎ ただし、つぎのような場合は must をつかって言われたら……うれしいもの。

初めて、ホームステイするなつえさん、ホームステイパパとママが大歓迎。夕食はすごいご馳走。ホームママが心を込めてつくった料理。みんなでそれを囲んだとき、ホームママが、にっこりしてなつえさんに、

“Natsue, you must have all kinds of dishes on the table.”

と言。

それを聞いたなつえさんは、

「えっ、こんなたくさんの種類のものを食べなさいって？ 無理無理。来た早々、『～しなさい。』って随分厳しいのね。

と思いました。でも、ちがっていました。ホームママが言ったのは、

「なつえさん、テーブルにある全ての種類のお料理を食べなさい。」

と強制したのでなくて、

「なつえ、私の作ったもの、ぜひとも食べてね。とってもおいしいのよ。」と勧めてくれていたのです。決して無理矢理に食べさせようとしたことばではないのでした。

must は自分に厳しく、相手には（相手の利益）を思って使う言葉です。

また、相手に対する配慮を表す言葉もあります。

You must come to the party.

「ぜひとも、パーティーに来てください。」

は、

「パーティーの主催者側が、相手側に「自分に来て欲しいと思っていてくれるのだな。」と思わす文ですね。